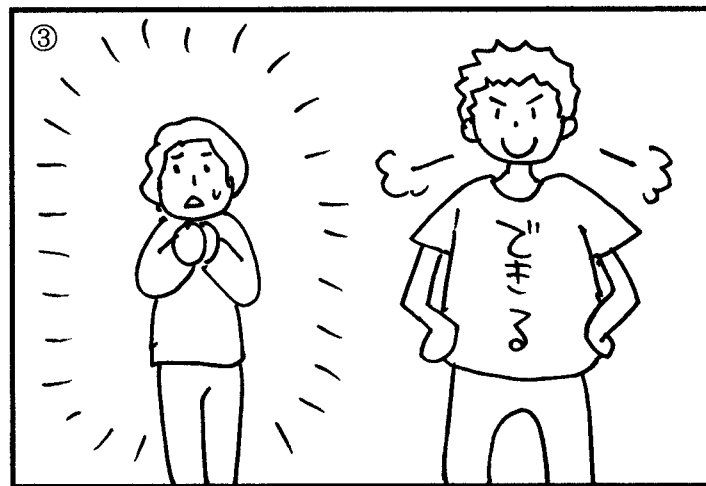
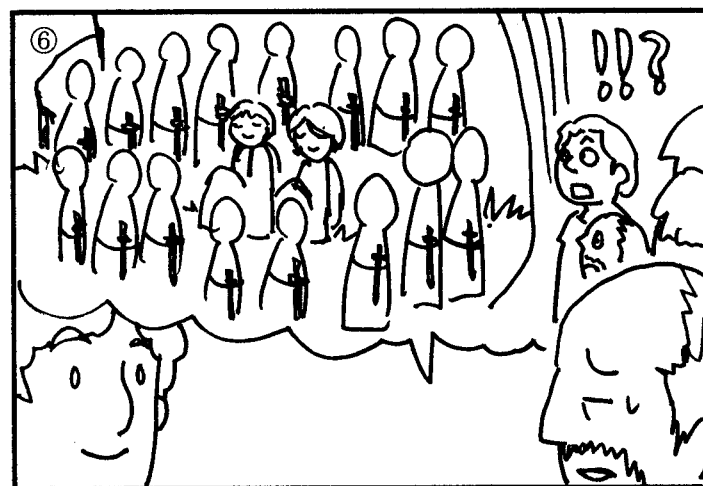
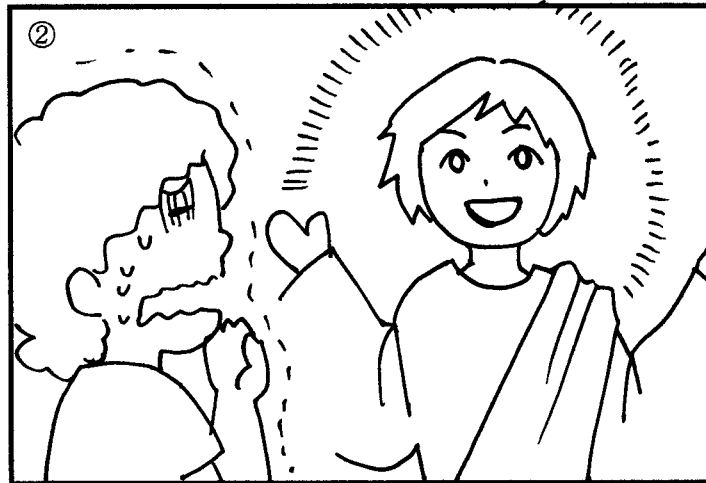
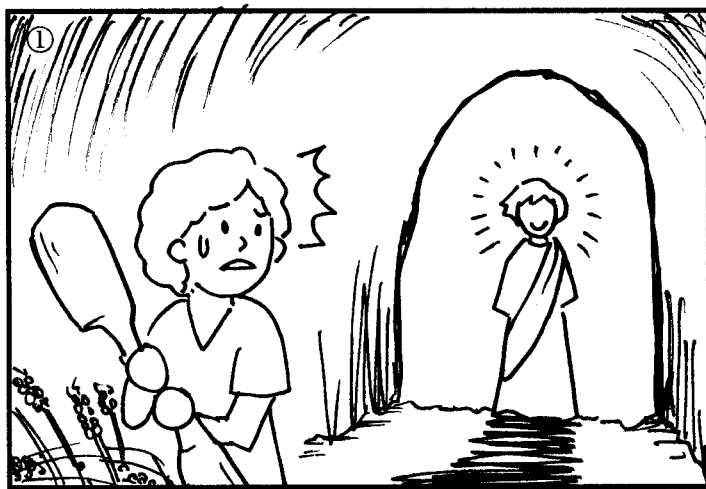


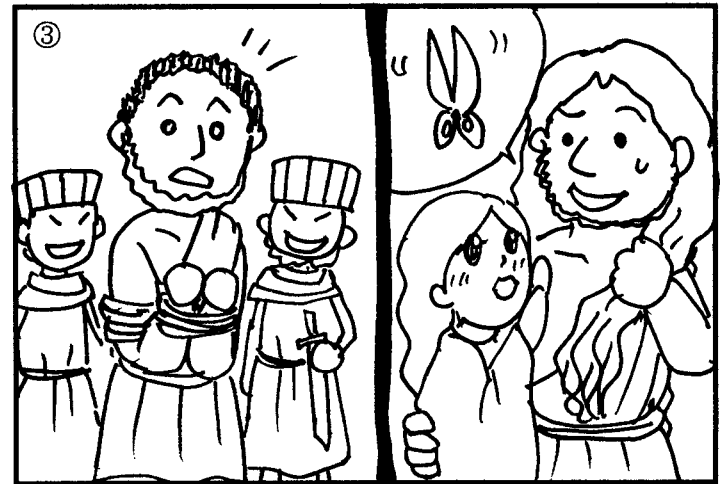
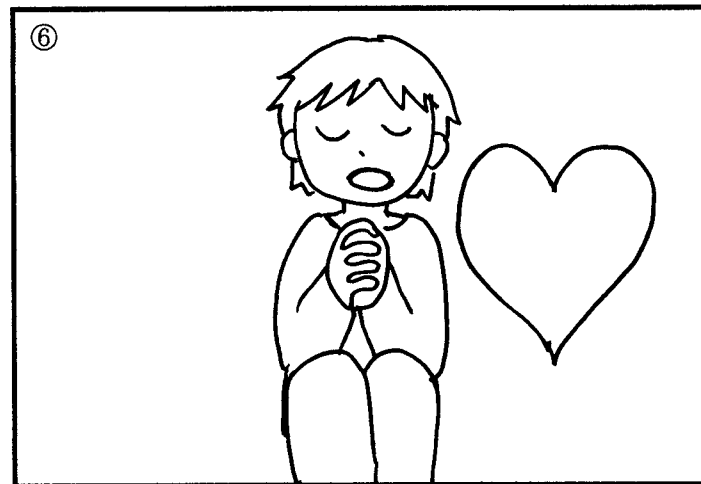
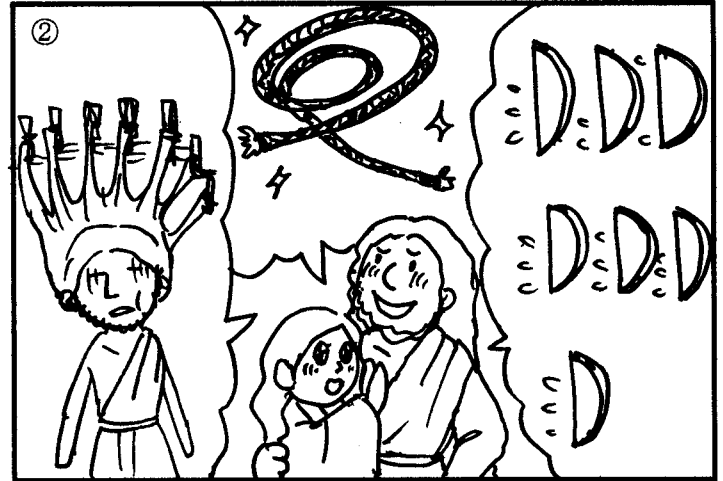
# 10月 7日 「勝てるよ！神様の方法でなら」 ヨシュア6・1～20

1. イスラエルの民を恐れ、心配するエリコの町の人々。
2. 神様の方法。6日間・・・ラッパを吹き鳴らしつつ、町の周りを1周回る。
3. 神様の方法。7日目・・・同じようにし、町の周りを7周回り、大声をあげる。
4. 従ったヨシュアたち。気味悪く思うエリコの町の人々。
5. ラッパの合図と共に民が大声をあげた。その時エリコの城壁が崩れ落ちた。
6. どうして勝てたのか？それは神様の方法に従ったから。私たちも従おう。



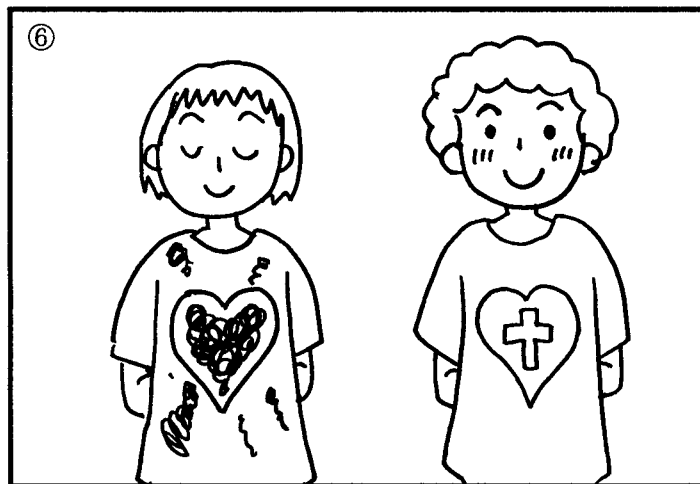
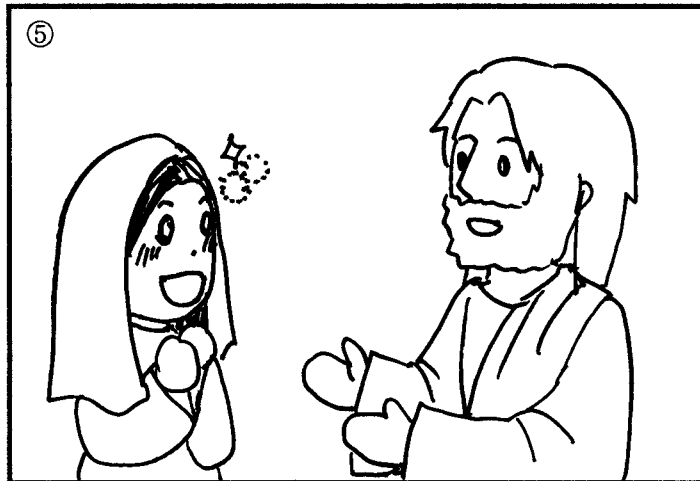
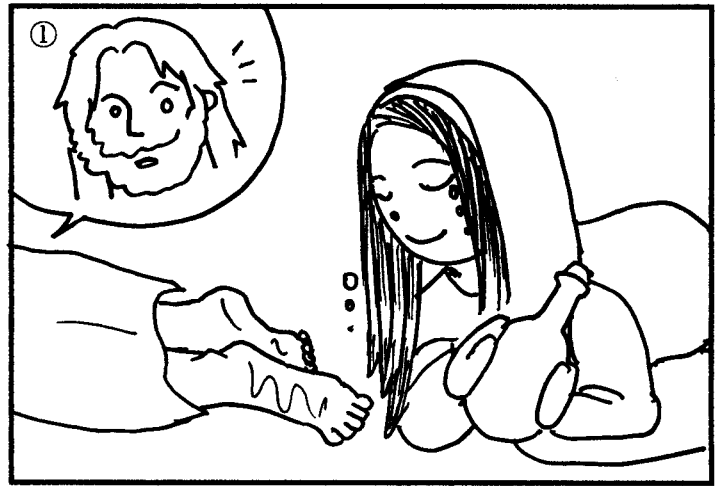
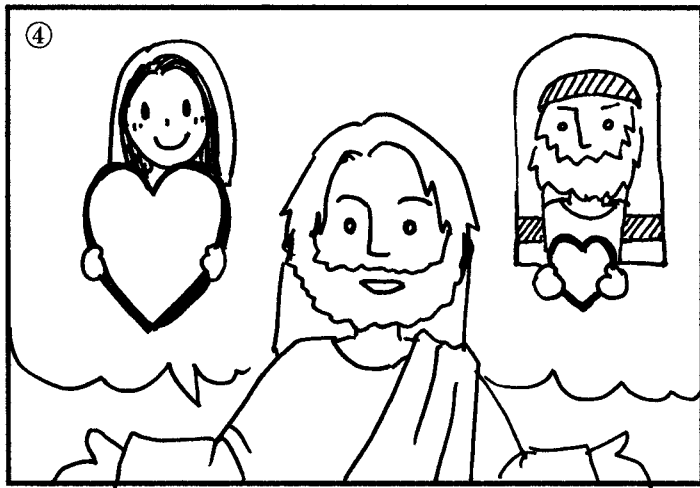
# 10月 14日 「勇士として立つ」 士師6・7～16

1. 酒ぶねの中で、びくびく麦を打つギデオン。主の使いが来て士師として立てる。
2. 戸惑うギデオンに励ましの言葉を言う主の使い。
3. 自信満々の人を選ばず、むしろ弱く小さく取るに足りない人を選び用いられる。
4. ギデオンの軍隊が神様の力によって見事勝利した。
5. マレーシアの宣教師の話。野宿する宣教師2人。強盗しようとした男が後日話す。
6. 16人の兵隊にガードされていたことを話す強盗。驚き喜ぶ宣教師。



# 10月 21日 「あなたも私もナジルびと」 士師16・4～6、15～22

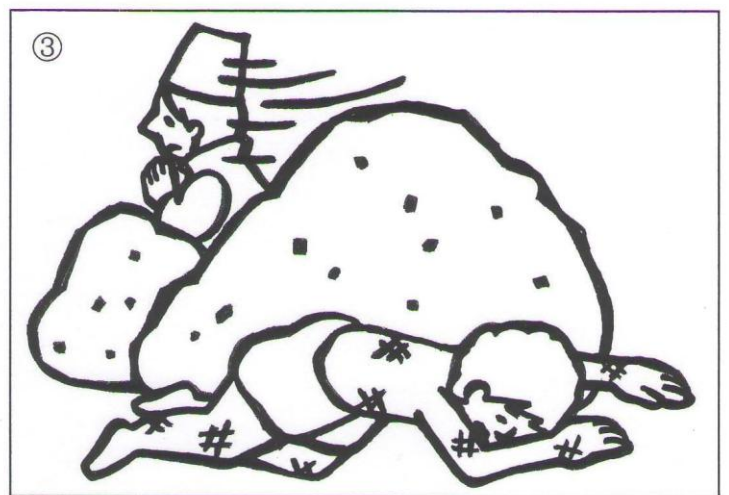
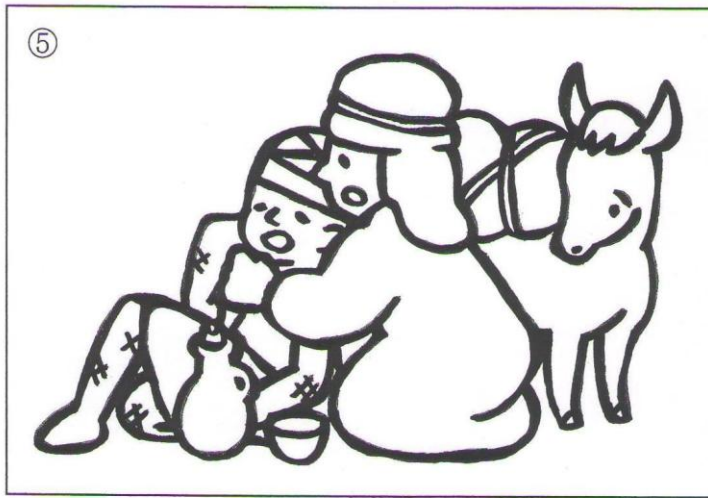
1. ナジル人って？「神様のものとして聖く生きるように選ばれた人」ブドウ酒を飲まず髪の毛を剃らない。
2. デリラという女性に秘密を聞かれるが、うそをつくサムソン。（3回）
3. とうとう本当の事を話してしまい、髪を剃られ、捕まってしまったサムソン。
4. 牢獄の中で鎖につながれて、臼をひかされるサムソン。悔い改めの時となる。
5. ダゴンの祭りで主に呼ばわり、再び力を頂いたサムソン。柱ごと神殿（劇場）を倒す。
6. 私たちもナジル人。神に従って、聖霊に満たされ、祈りつつイエス様につながろう！



# 10月 28日 「罪赦された者として」 ルカ 7・36～50

1. イエス様の足を涙で洗い、髪の毛で拭き、香油を注いだ女性。
2. パリサイ人シモンが心の中で裁く。
3. ある例話を出して質問したイエス様。
4. 女性とシモンを比べて話すイエス様。多くの罪が<sup>ゆる</sup>赦されているものは、神様に対する愛も大きい。
5. 「あなたの罪はゆるされた」と宣言されるイエス様。罪が赦されて喜ぶ女性。
6. 私たちはどちらでしょう。罪に気付かない人？罪を認めて悔い改める人？



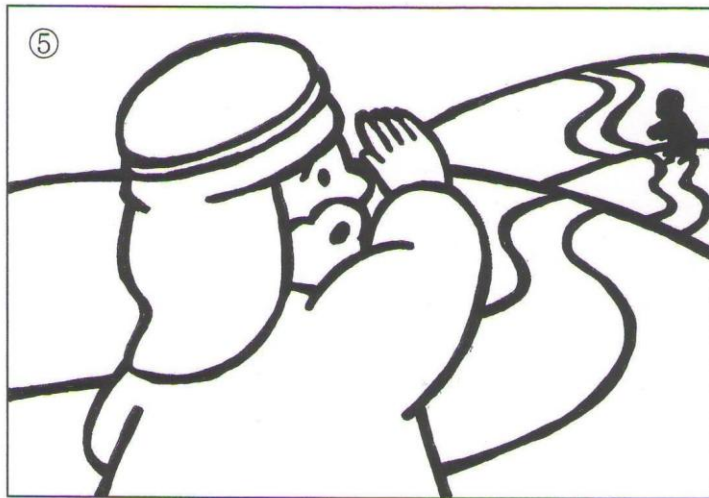
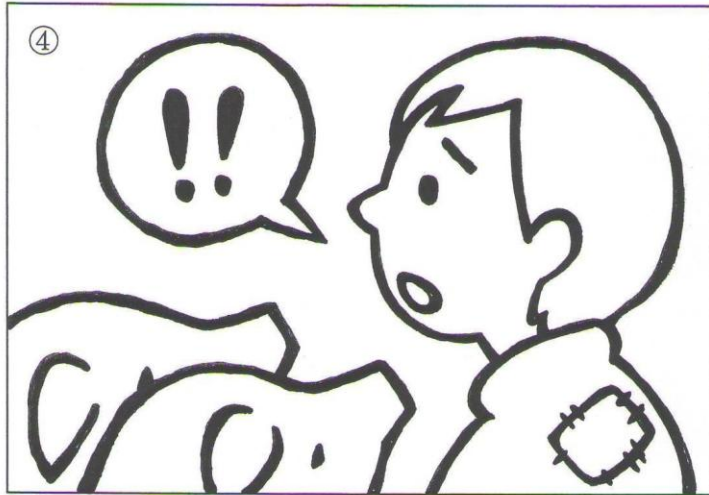


# 11月4日 「親切な隣人はだれ？」 ルカ 10・25～37

1. 律法学者がイエス様を試そうという下心を持って、イエス様に質問しました。
2. ある旅人が寂しい岩だらけの山道を急ぎ足で歩いていると、強盗が襲いかかってきました。
3. 旅人が起き上がる力もなく、死んだように倒れている所に祭司が通りかかりましたが、見ない振りして、道の反対側を行ってしまいました。
4. 次に通りかかったレビ人も道の反対側を逃げるように行ってしまいました。
5. サマリヤ人の旅人は急いで駆け寄り、宿屋まで傷ついた旅人を運び、一晩中看病しました。
6. 隣人になることはたやすいことではありませんが、イエス様を信じるとき私たちの心には神の愛が注がれ、隣人を愛するやさしい心が与えられるのです。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。

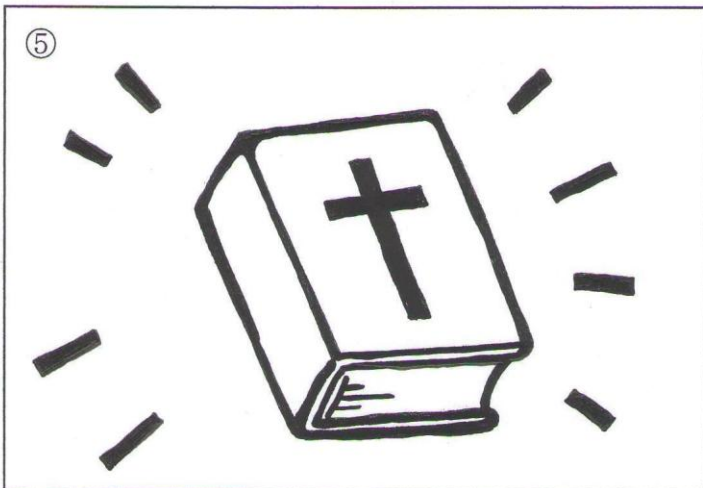




# 11月11日 「そうだ、帰ろう！父のもとへ」 ルカ 15・11～24

1. ある所に、お父さんと二人の息子が住んでいました。息子たちは家の仕事を手伝いながら暮らしていましたが、弟息子はこの暮らしが退屈でしょうがありません。
2. 「町に行きたい」と弟息子はお父さんから自分の分け前のお金をもらい旅立ちます。
3. 遠い町につき、働きもせず遊んでいたのので、気づけば一文無しになってしまいました。友達も離れていってしまい、一人ぼっちです。さらに、飢饉が起こって、食べるものもありません。
4. やっとの思いで見つけた豚の世話をする仕事をしながら、弟息子はハッと我に返りました。弟息子は家に帰ってお父さんにあやまることにしました。
5. 一方、お父さんは弟息子のことを片時も忘れず、帰りを今か今かと待ち続けていました。
6. お父さんはボロボロの姿の息子を迎えて、しっかり抱きしめました。天の神様はこのお父さんのような方です。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。

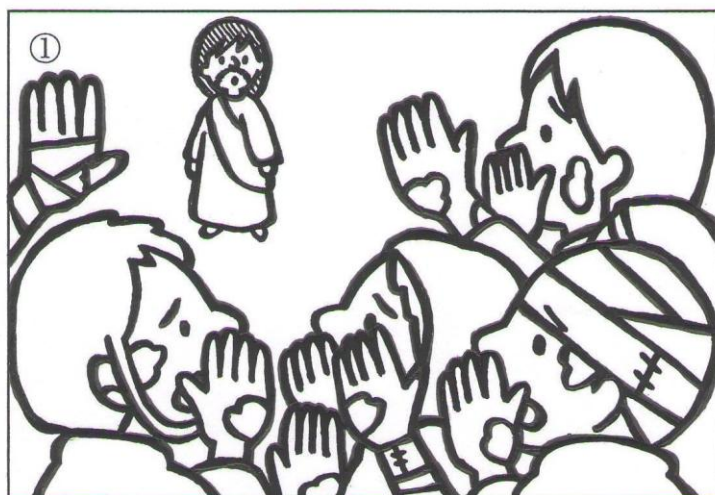


# 11月18日 「天国にいく準備は？」 ルカ 16・19～31

1. 「お金を犠牲にしても神様に仕えることのほうが大切です」とイエス様が教えるのを聞いていたパリサイ人たちは「バカな教えだ!」とあざ笑いました。
2. ある所に金持ちがいました。彼は毎日ご馳走をたらふく食べて贅<sup>ぜいたく</sup>沢に暮らしていました。
3. 一方、貧乏人のラザロは残り物でも食べたいと思い、金持ちの玄関先に寝ていました。しかし、金持ちには情けの心がなく、ラザロは死んでしまいました。
4. 死後、ラザロは「アブラハムのふところ (パラダイス)」に、金持ちは「黄泉というところ」にいきました。金持ちは燃える火の苦しみの中でアブラハムに助けを求め叫びました。
5. この世でたとえどんなであっても、大切なのは主を信じる「心 (信仰)」です。
6. さあ、心を開いて、イエス様を心にお迎えしましょう。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。

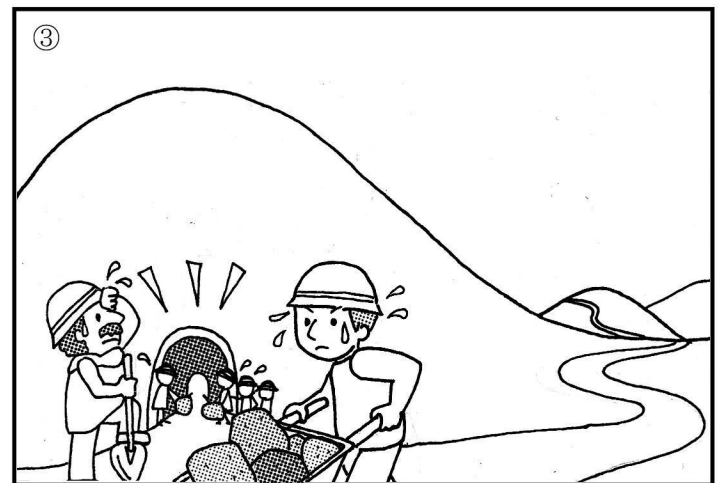
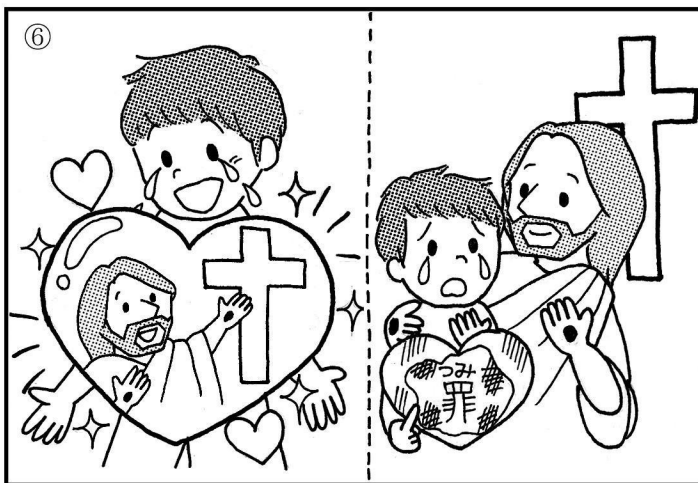
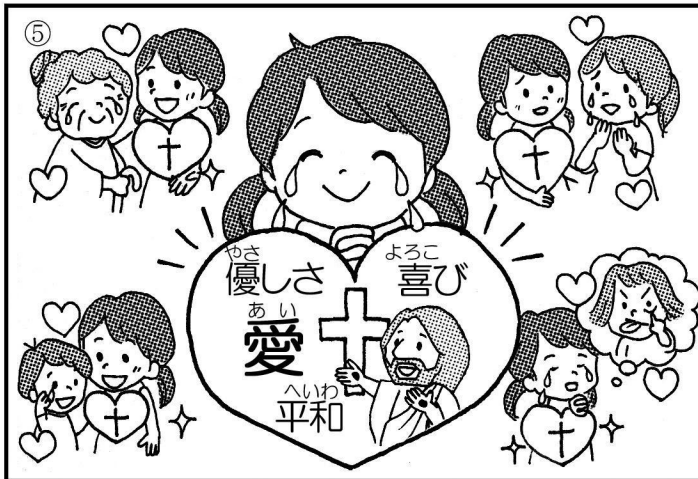
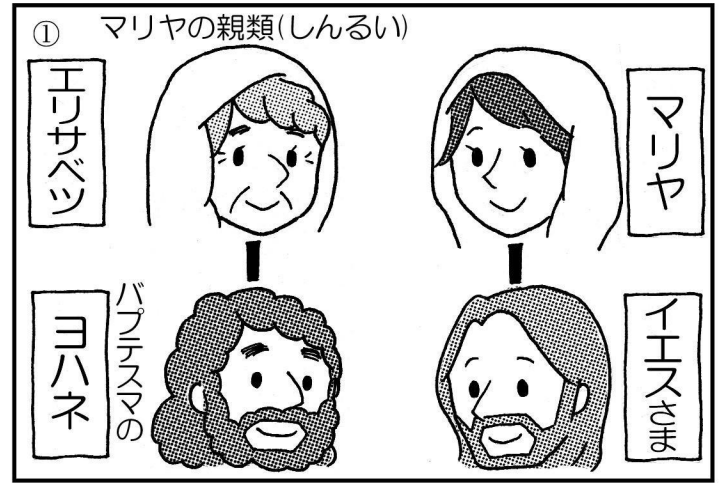
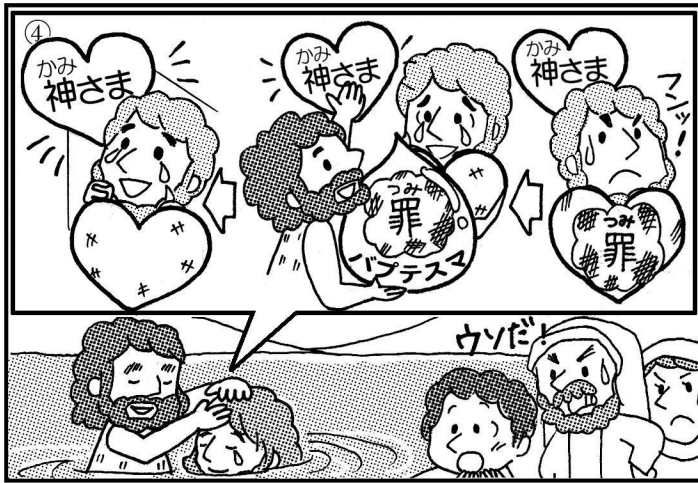




# 11月25日 「おっと、忘れていませんか？」 ルカ 17・11～19

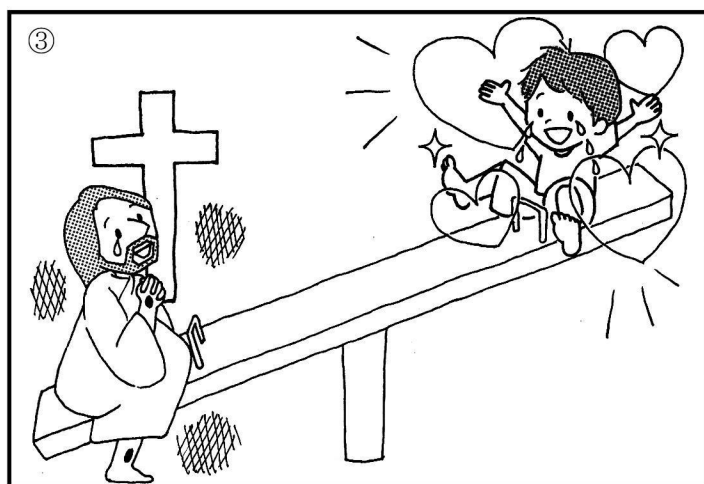
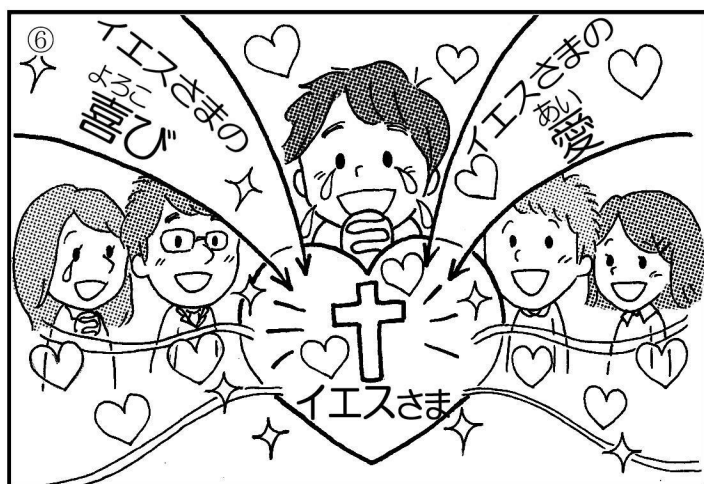
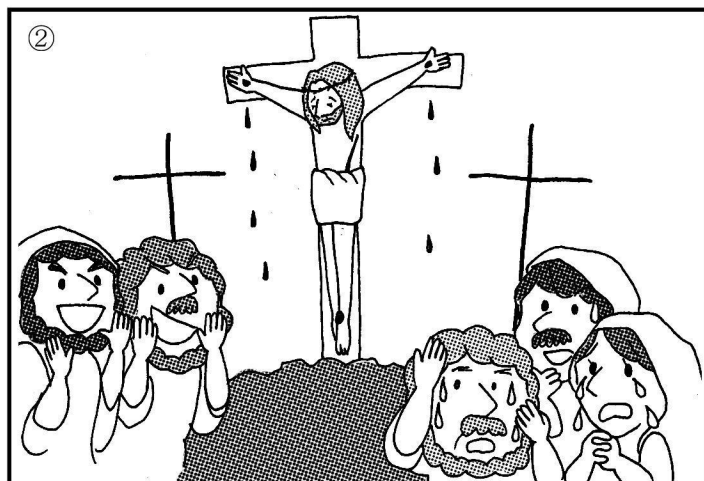
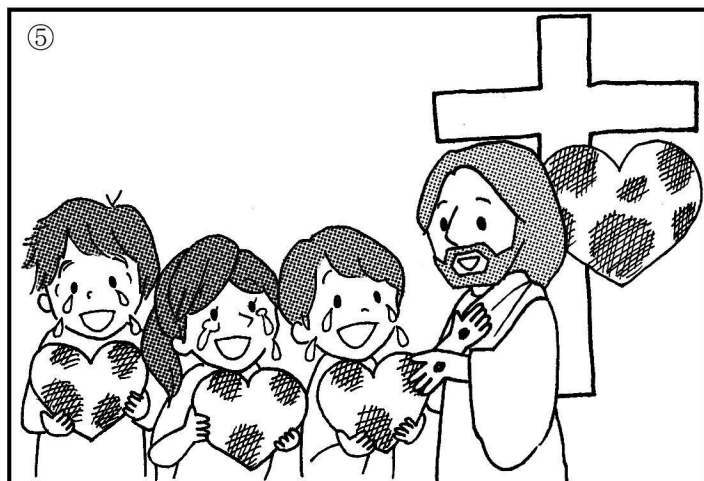
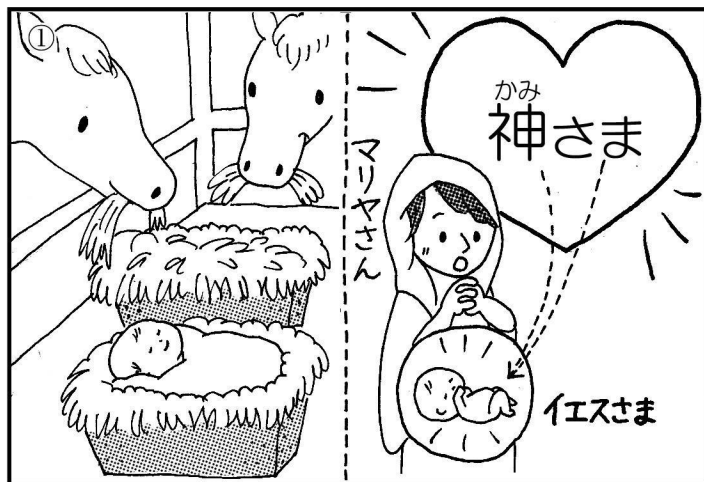
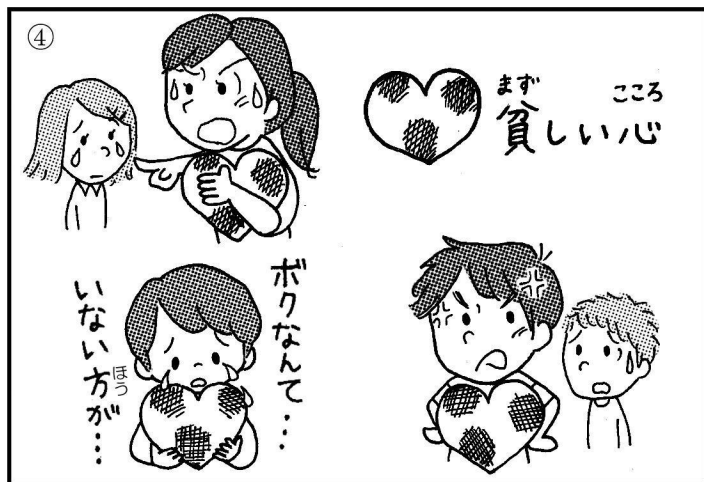
1. 10人の重い皮膚病を患った病人たちは村を通られるイエス様に大声で叫びました。
2. イエス様は彼らに「祭司たちのところに行って、からだを見せない」と言われました。
3. その言葉を信じて祭司のところへ行ったら、皮膚病が癒されすべすべになりました。彼らは病気が治ったことをとてもよこびました。
4. 10人の中の1人が引き返してきて、イエス様に心の底から感謝を言い表しました。
5. あなたは真剣に祈って祈りがきかれたことがありますか？
6. 私たちは毎日必要なものを神様から与えられています。お願いばかりでなく、神様に心から感謝を言いましょう。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



## 12月2日 「大切な準備」 ルカ 3・1～6

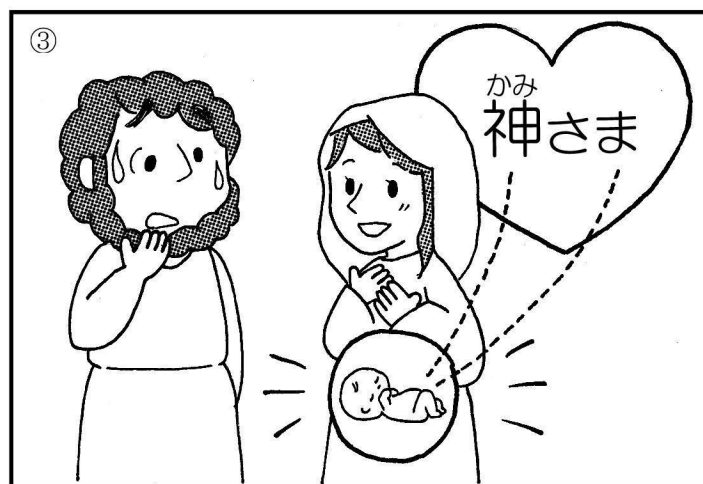
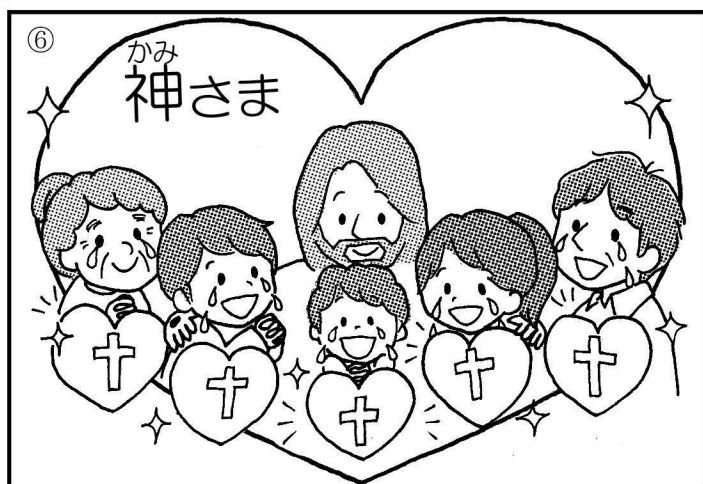
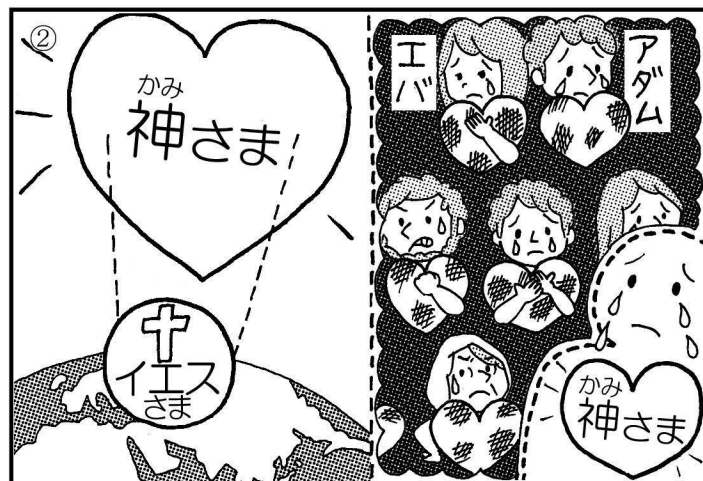
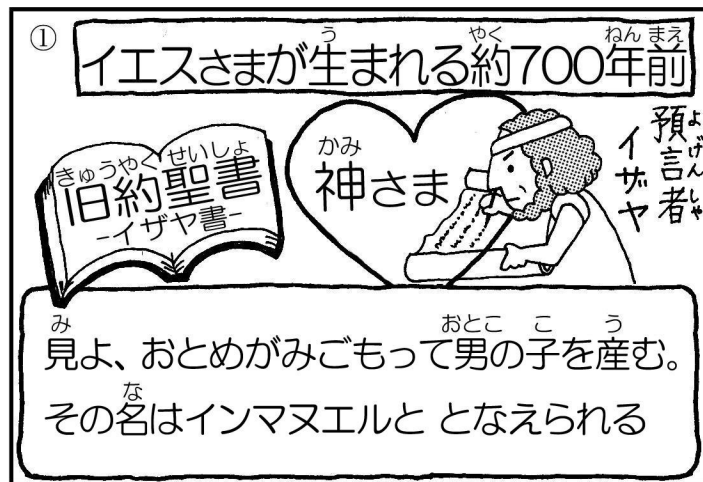
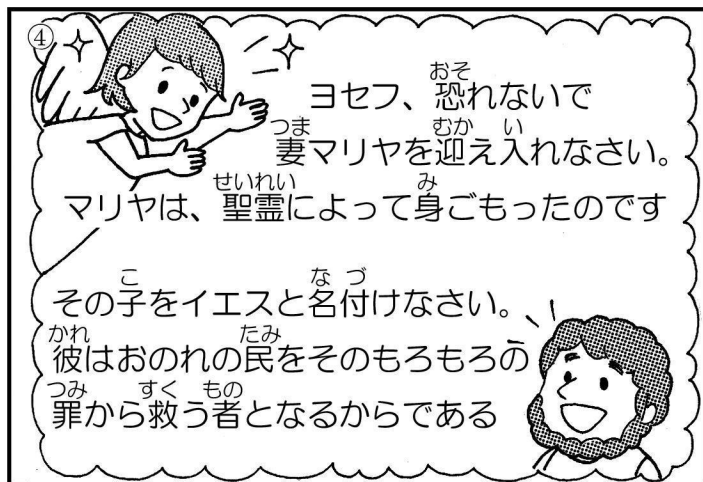
1. イエス様のお母さん、マリヤ。マリヤの親類エリサベツの子は、バプテスマのヨハネ。
2. バプテスマのヨハネは、「わたしより優れた方が来られます！悔い改めてバプテスマを受けなさい！」と知らせて回った。
3. 山の中に、トンネルを作っている人々。
4. 悔い改めて、バプテスマを受けて、神様の方を見て、イエス様の来られる道備えをした人。  
見えない心の備えのことなので、ウソだと言っている人もいる。
5. イエス様は、イエス様を心に迎える人の心を、愛、喜び、優しさ、平和に満たしてくださる。
6. イエス様は、罪の告白を助けてくださる。そして、その罪を赦(ゆる)し、私たちの中に入ってください。



## 12月9日 「心、豊かにされよう！」 IIコリント 8・1～15

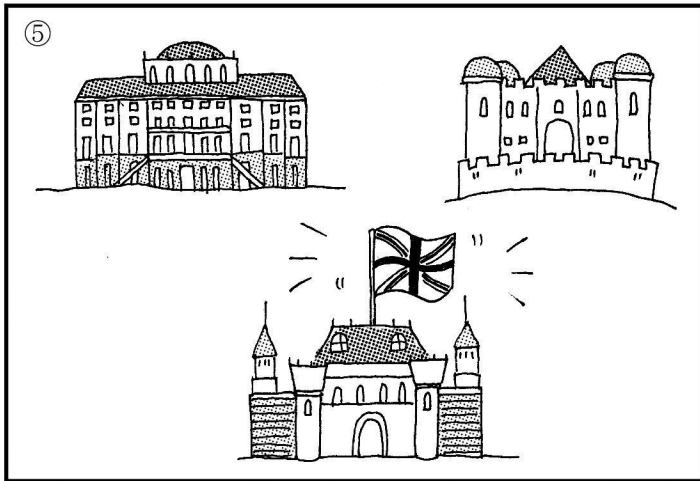
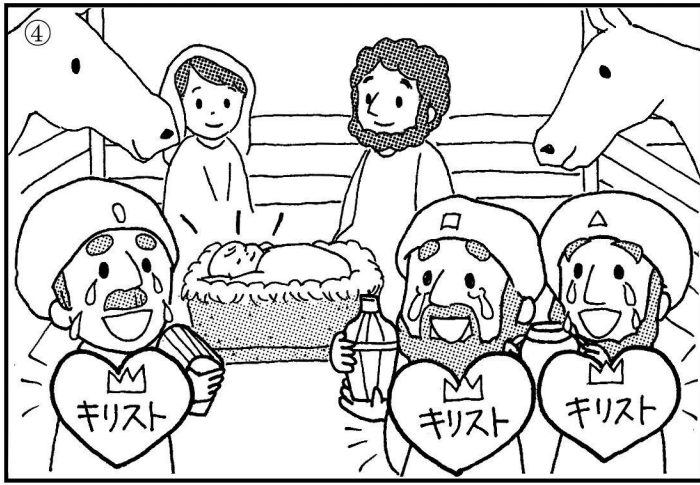
1. イエス様は、マリヤのお腹から赤ちゃんとして生まれた。生まれた場所は、家畜小屋。
2. イエス様は神様であるのに、十字架刑を受けられ、そこで死なれた。
3. シーソーのように、イエス様が貧しくなられたのは、皆さんを豊かにするため。
4. 貧しい心はいつも苦しく、人や自分に対して優しくできず、相手を傷つけてしまう。
5. イエス様は、私たちが抱える全部の貧しさを背負ってくださった。
6. イエス様によって、心が豊かにされた人は、豊かさが周りに流れていく。イエス様を信じ続ける人の心には、イエス様の喜びと愛が注ぎ続けられる。





## 12月16日 「イエス様の誕生」 マタイ 1・18～25

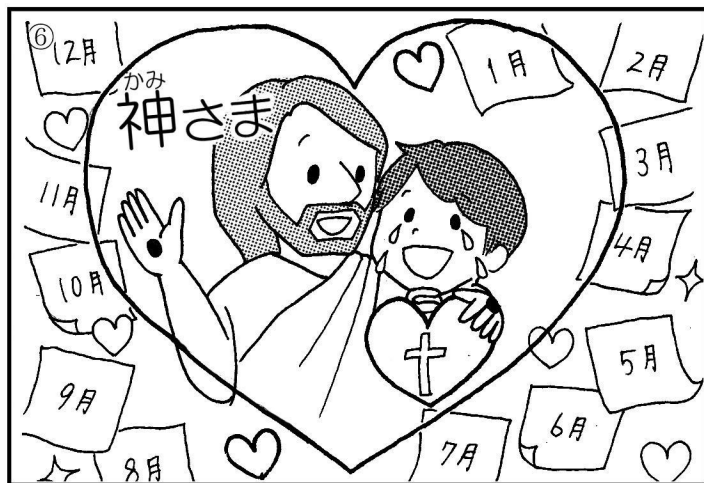
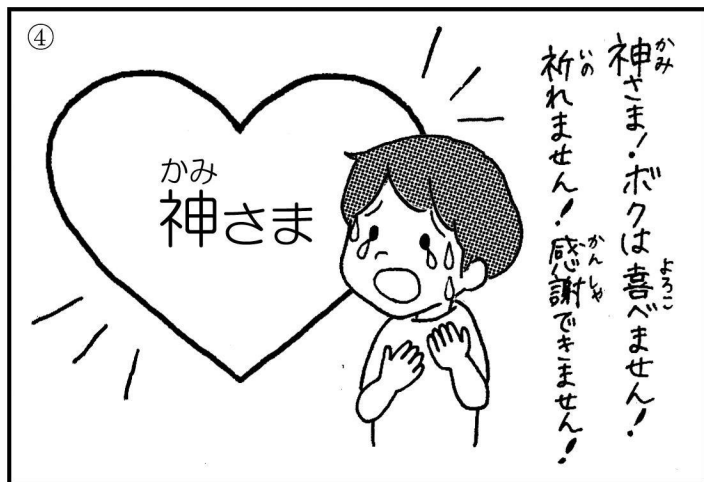
1. イエス様が生まれる約700年前に、イエス様の誕生が約束されていた。
2. 神様は、アダムとエバが犯した罪によって苦しむ多くの人々を、救いたいと願った。  
神様はこの地上に、救い主として、イエス様という人間の姿になって、約束通り来られた。
3. マリヤは、神様の力である聖霊によって、イエス様を身ごもられた。ヨセフは驚き困っている。
4. 夢の中でヨセフに語られた、天使の言葉。
5. イエス様が、罪に苦しむ女の子を救われ、神様とつながるように導いている。
6. イエス様によって、完全に罪から救われ喜んでいる人々。



## 12月23日 「王であるキリストを歓迎します!」 マタイ 2・1～12

1. 博士たちはヘロデ王に、ユダヤ人の王がどこでお生まれになったかを聞いた。
2. 王であるキリストを必要とせず、自己中心な心のヘロデ王。
3. ひととき輝く星が、イエス様のところへ博士たちを先導して、進んで行った。
4. 博士たちは、キリストを心から歓迎し、喜びで満たされ、黄金、乳香、没薬をささげた。
5. イングランドでは、城に旗が掲げられていると、そこに女王が滞在しているという、しるし。
6. 私たちの心に、王であるキリストが住んでくださるなら、喜びの旗が掲げられる。周りの人たちは、その喜びを通して、王なるキリストを知ることができるようになる。





# 12月30日 「感謝、感謝、感謝」 Iテサロニケ 5・16～18

1. 神様のみこころ、喜ばれることは、何かな？と考えている男の子。
2. 神様のみこころである生活。「ボクにはできないなあ…」と困っている男の子。
3. Iテサロニケ5：18。「キリスト・イエスにあって」が秘訣。
4. 男の子が、正直に神様に「ボクは喜べません。祈れません。感謝できません。」と言っている。
5. できないことを全部知ってくださって、共にいてくださるイエス様。左の男の子は、それを知って喜んでいる。
6. この1年を、イエス様にあって、神様に感謝している男の子。